





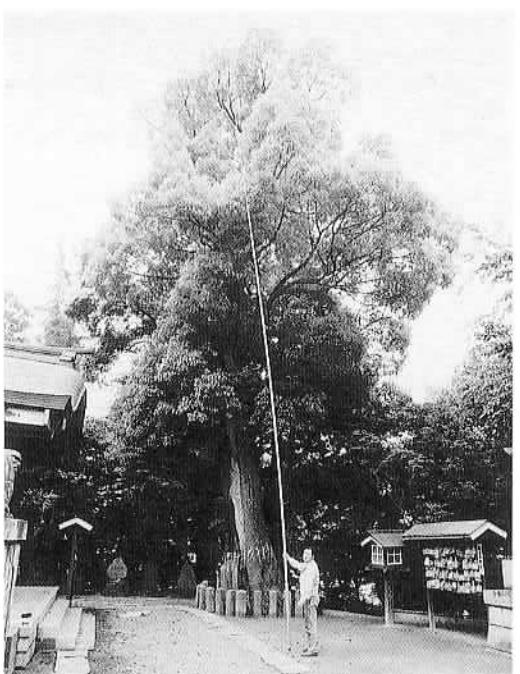
# 石岡の巨木調査が開始！ (石岡青年会議所)

5月25日から石岡青年会議所のスタッフが、石岡の巨木調査を始めました。この事業は青年会議所の創立15周年を記念して行われるもの。市内とその周辺地区にある巨木・名木・珍木の大きさ・高さ・樹齢などを調べ、一冊の本にまとめ年内に刊行する予定です。調査を開始した青年会議所では、個人の屋敷や私有地にある巨木・名木・珍木を捜しています。

■巨木の対象となるのは、地上から約130cmの位置で幹の周囲が300cm以上の樹木。株立ちの木は高さ約130cmで幹周の和が300cm以上で主幹周が200cm以上の樹木。

■名木は、その姿・形態・雰囲気などから極めて趣や風格が感じられる樹木、または歴史的由緒ある樹木です。珍木は樹種・姿などで極めて珍しい特長のある樹木。

※以上のような樹木を所有している方または知っている方は、石岡青年会議所・巨木調査担当の町田政道までご連絡ください。



## いしおか回憶録

34

写真で綴る



▲ジャズダンスの発表会でしなやかで流れるような動きを披露する高野光枝さん。

### ジャズダンス指導の先駆者 貝地2丁目の高野光枝さん

この人と30分 (16)

夜八時、玉里村海洋センターのトレーニングルームで十数名の二十代の女性が、リズミカルな動きを繰り返しています。ジヤンプしたり、両手を大きく広げたり、身体を左右にねじったり……。ジャズダンスに汗を流

す女性たちのヒートアップした息遣いが、広い空間に拡散していく。その中央に、一際しなやかな動きで全体をリードする一人の女性がいました。ジャズダンス歴十五年のキャリアを持つ貝地二丁目の高野光枝さん (36) です。

「はい！そこで両手が伸びたら、自然に力を抜いて前方へ」と自らフォームを示す高野さん。生徒たちの熱心な観視がその動きを追っていきます。

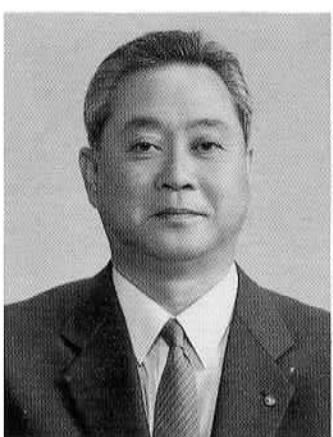
高野さんは、中学時代に器械体操高校時代に陸上競技、東京女子体育大学時代に新体操と身体を動かすことをずっと学んでいました。大学卒業後は、いの瀬社会体育研究会で社会体育を学び、幼児からプロスポーツ選手・身体の不自由な人などと接し、そこで生涯体育の必要性を知ったといいます。

「私が今やっているジャズダンスは、正確にはナチュラルジ

●明治と大正の風景  
明治以後に失われたもので、石岡にも残つていたら貴重な歴史的観光資源になつたろうと思われるものがいくつもあります。その筆頭にあげられるのが、右の常陸国分寺の仁王門です。高さ



▲山王台(現在の山王台交差点付近)から望む石岡の町と筑波山。  
大正期には6号国道もなく、田が大きく広がっています。



高野輝也氏に藍綬褒章  
長年にわたって商工業発展への功労が認められ、株式会社取締役の高野輝也氏が春の褒章(藍綬褒章)に輝きました。

高野さんがジャズダンスを教えるのは、水戸・勝田・日立・玉里・小川の五カ所。さら

砂利道を走るクラシックな車の右手には箕輪池(現在の消防署)がわずかに水面を見せてます。水の張られた田や草の状態から察すれば五月ごろのよう

新緑が目にしみる季節になりました。小雨が降るときの紫陽花の美しいを含んだ華やかさ、あ

るいは花菖蒲の水滴を花弁に乗せた優雅さが、すんだ心を慰めてくれます。

そのことを思つたびに、私たちの祖先が教えてくれた“自然を愛する心”こそ子孫に伝えてゆくべきことだと思います。

しかし、石岡は常陸の国府があつた古い古都であつた”とのだけでは、淋しいやがては忘れられてしまうのではないかと危惧します。やはり、二十世紀の石岡を考えて、色々な環境づくりをしなければならないのだと思います。

東京を中心とした首都改造計画が、学識経験者たちを中心として種々な議論をして種々な議論を重ね、その施策が進められています。

都心から八十キロの距離にあります。JR常磐線の駅と常磐自動車道インターがある石岡。しかも、気候は温暖で適度に季節を感じられる環境。台風の直撃や大きな災害・地震もなく、もちろん火災・水害もほとんどありません。

傍らに埋蔵文化財の宝庫といわれる鹿の子遺跡や宮平遺跡など、枚挙にいとまがない歴史の里・石岡。カルチャーサティフィーは、人口十万の首都圏ペッダウンとして、あるいは余暇利用のリゾート・ドライブ地区としての位置づけができると思います。

## 市長歳時記

タープロント計画が、霞ヶ浦高浜地区に検討されています。ハイセンスなスポーツ・レクリエーション機能を持つ首都圏のリゾートゾーンとしてのウォーターフロント計画が進められれば理想的です。





▲ハイキング（5月21日）

愛宕山から吾国山までの約10km。参加者は、5歳の福田くんから75歳の大内さん・桜井さんまで57名。小雨まじりの天候にもかかわらず、全員が終着点の福原駅へ無事たどりつけました。

▶好評！グラフィックパワー展  
（石岡ショッピングセンター）  
5月11日から16日まで、市内の若手デザイナーのグラフィック展が石岡ショッピングセンターばれっと2階で開催され、店内を訪れた多くの市民の目を楽しませました。



◀ボランティアの祭典に千人の市民（福祉会館）  
5月21日に行われたこのイベント、福祉ボランティアの方々が中心となり、お好み素人演芸やお年寄りたちなど様々な催し物にお年寄りたちは大喜びでした。



▲花と緑の街づくりに東電社員も協力キャンペーン（石岡駅前）  
市が進めている花と緑の街づくりに応えて、東京電力石岡支店でも、このほど石岡駅前で花のタネを配りました。松葉ボタン・貝細工・百日草・アスター・石竹などの花のタネを7人の社員が帰宅する市民に笑顔で手渡していました。

▼初夏の体育祭が盛大に開催（六軒東区）

5月14日、六軒東区（高崎徳雄区長）の区民体育祭が開かれました。○×ゲームやどじょうつかみ競走など13種目に子供からお年寄りまで約300人が参加し、楽しい一日を過ごしました。



▶市内いっせいのあき缶回収（6月4日）  
朝7時から町内会をあげて、あき缶回収が行われました。市内をきれいにしようと、道の端の草とりもいっしょにけんめいにする町内会のみなさん。



## ぼくらの名物先生

54

・杉並小学校 宇津野英広先生(33)

「生徒の考え方を受け止め、共感することができる先生ですね。子供の心情に訴えるベテランといえますか」と、佐藤栄二校長先生。

まもなく現われたのは、ぱつぱいに優しさを詰め込んだ宇津野先生。

千葉大教育学部中等教育科卒業。龍ヶ崎市立愛宕中学校を経て、杉並小学校へ赴任して七年目を迎え、六年生を担任しています。

「できる限り自分の考えで行動し、失敗しても、そこでまた考えるようにして欲しいんです。ですから、しかりつけるのではなく、行動を認め、励ましたり



誉めたりしたいんです。それが向上につながると思います」と、話してくれた宇津野先生。日曜日には、二人の女の子と家の近所を散歩するお父さんです。

「いろいろおもしろいことを

教えてくれる」と大高伸明くん。鈴木真くんは、「宿題をつけない出だんだよ」広原隆くんが「公平で、平等なんだ」と言うと、「バスケットのとき、女性の方が時間が多

### ▼俳句の部

東光台一 塚本 光子  
余り苗あずける水の声きいて  
府中二 梅野 阿江

貧乏暮しにや思いもよらぬ  
竹の数にも捨てる金  
府中一 楊巻 悅子  
母の日に亡き母のぶ母となり  
三 村 上田 御城  
かがやける貌ひいふうみ子供の日  
泉町 橋詰 康子  
五月雨に洗脳されて過去を折る  
未だ解けない 救の下  
短歌の部

府中三 長谷川や江  
卒寿越えし足萎えの姉訪ねんと  
國府二 篠原 東陽  
竹にまつわるお金の謎が  
親にまけない 今年竹  
國府六 常山 真砂

愛のあかしかすく伸びて  
親にまけない 今年竹  
國府六 常山 真砂

未だ解けない 救の下  
短歌の部

府中三 長谷川や江  
卒寿越えし足萎えの姉訪ねんと  
國府二 篠原 東陽  
竹にまつわるお金の謎が  
親にまけない 今年竹  
國府六 常山 真砂

愛のあかしかすく伸びて  
親にまけない 今年竹  
國府六 常山 真砂

未だ解けない 救の下  
短歌の部

